

明日の家族を考える会 会報



第28号

2011年9月

・発行 明日の家族を考える会・会長 羽賀紘一 ・事務局長 中村厚子
・発行責任者・編集人 羽賀紘一 ・毎月1回発行
・事務局 〒659-0091 芦屋市東山町10-2-701 中村方 TEL. 080-6165-7011
FAX. 0797-23-2488 URL <http://wnw-ashiya.com>

9月度幹事会

○日時 2011. 9. 22 (木)

19:00~21:10

○場所 中村邸

○出席者確認 (敬称略) 大脇、河村、中村、羽賀、榎本、三木、宮本、以上7名

○配布資料 ①会報第26号、第27号

②第11回公開学習会のチラシ

③カルガモクラブ会場、曜日変更と今後の予定案内チラシ

○報告事項

*事務局報告

①相談案件1件 中村会員が対応 (相談内容は議事録に記載しない)

②男女共同参画団体協議会報告 (羽賀会員 9月1日 (木) 開催)

・今年度から協議会の当日に登録団体のプレゼン (10分) を行う。当会は12月の予定。

・ウィザスフェスタの日程 バザーのみ2012年3月4日 (日) に決定。
その他の詳細は次回以降に決定する。

③市民活動センターの市民フェスタ パネル展示の締め切り: 10月19日

④羽賀会員の出前講座の報告 今年度の活動報告として、事務局で記録する。

*会計報告・河村担当

相談用携帯電話の契約変更で料金が安くなった。

*HP報告・大脇担当

第11回公開学習会の案内を掲載した。

*カルガモクラブ、バンビグループ、まちの寺子屋報告・河村担当

・カルガモクラブの変更

・会場: 打出集会所

・日時: 第1週、第3週の木曜日 10:00~11:30

・手づくりおもちゃの試作実習

○審議事項

1). 第11回公開学習会の役割分担について



彼岸花 (ひがなばな)・(曼珠沙華 (まんじゅしゃげ))

- ・日程：10月15日(土) 13:30～15:30 ・講師：榎本英樹氏
- ・テーマ：子育て支援「親子わくわく体操塾」 ・対象：親子50組程度
- ・会場：芦屋市医師会 医療センター (芦屋市公光町5-13)

集合時間：12時30分 出席予定会員：大脇、河村、中村、羽賀、三木、榎本
 欠席予定者：宮本、安井 その他の方は出欠を事務局まで連絡してください。

準備作業：会場設営(ブルーシート要・不要は講師に照会する。会場内の机の移動作業があれば集合時間を早くすることがある。) 垂れ幕の作成：大脇会員、受付、
 広報活動：河村会員、チラシの印刷200枚：大脇会員、チラシが必要であれば申し出ること。

2). 子育て支援事業の新たな展開の可能性について

河村会員から、芦屋大学からの話として入院中の子ども(中期が対象、長期は対策が種々とられている)を対象にした支援事業について紹介があった。今後、具体的になれば、当会としての事業にするかどうかも含めて議論する予定。

○卓話：私の健康法

時間の都合で今回はなし。

○次回幹事会

2011年11月24日(木) 19:00～ 中村邸

*注) 何もなければ前回の決定により10月度幹事会はありません。



羽賀さん

三木さん 中村さん



三木さん

大脇さん

榎本さん

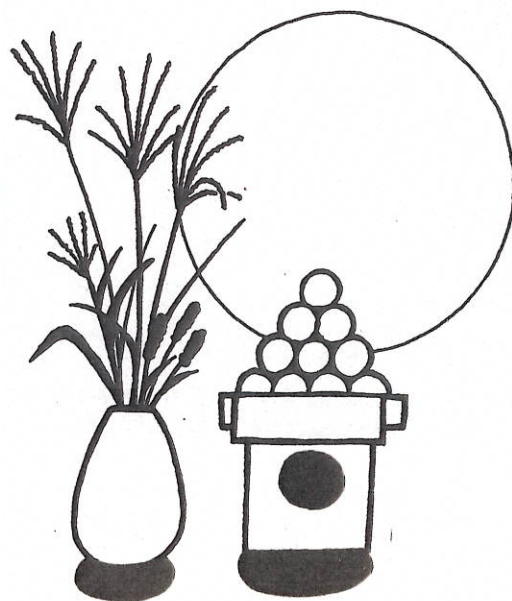
手作りのおもちゃ、試作実習中です



宮本さん

中村さん

河村さん



○9月の子育て支援活動

*カルガモクラブ 河村さん担当

第2・第4木曜日 10:00~11:30

西蔵集会所

0歳~よちよち歩きまでの親子が対象です。手遊びや育児の悩みを先輩ママがサポートします。子育て仲間を作って育児を楽しみます。



9月8日(木)は、**3組の親子**が参加されました。

ボランティアは、辻原さん、徳田さん

22日(木)は、**2組の親子**が参加されました。

ボランティアは、辻原さん、徳田さん



10月から会場・開催曜日が下記に変更となります

- ・会場 打出集会所(大東町)
- ・曜日・時間 毎月第1と第3木曜日 10:00~11:30
- ・対象 0歳児からの親子(よちよち歩けるようになるまで)
- ・内容 自由遊び・手遊び・子育てのアドバイスなど
- ・今後の予定日

10月 6日(木)	10月20日(木)	11月3日はお休み
11月17日(木)	12月1日(木)	12月15日(木)



西蔵集会所：この場所でのカルガモ教室は今日が最後です



辻原さん



*バンビグループ・・・河村さん担当

第2・第4火曜日10:00~11:30 打出集会所
1歳~3歳の親子が対象

9月13日(火)は、**15組の親子**(その内
子どもは26名)が参加されました。ボランティアは、徳田さん

9月27日(火)は、**9組の親子**(その内
子どもは12名)が参加されました。ボランティアは、徳田さん



「新聞紙遊び」新聞紙を縦に切り裂きます



山のように出来た新聞紙短冊をほりあげて遊びます



「宝物さがし」新聞紙短冊の下に宝物が隠れています。みんなでそれを探します



指遊びをしています。「おとうさん指さんかけてきて、曲がり角でぶつかって、



ご機嫌にしている第2子さん



お前が悪いんだぞ！！・・・」



県民交流広場事業

まちの寺子屋



・・・河村さん担当

9月30日(金) 15:30~17:00前田集会所にて

=動物たちのいる不思議な家づくり=

夏休みが終わり、2学期が始まって最初の寺子屋でしたが、**24名**(内男の子10名、女の子14名)のたくさんの参加がありました。中には、第3時間目が終わって直接寺子屋に駆けつけた小学校3年生もいました。

今日は、白色のA3用紙1枚を使って「動物たちのいる不思議な家づくり」をしました。屋根瓦を好きな色で塗り、中にいる動物にも色をつけて家の形に折り込みます。家の窓を開くと動物が3匹見えます。中央にいる動物を右側、または左側にいる動物に入れ替えて遊ぶというものです。当会員の参加は河村さん、羽賀さん。



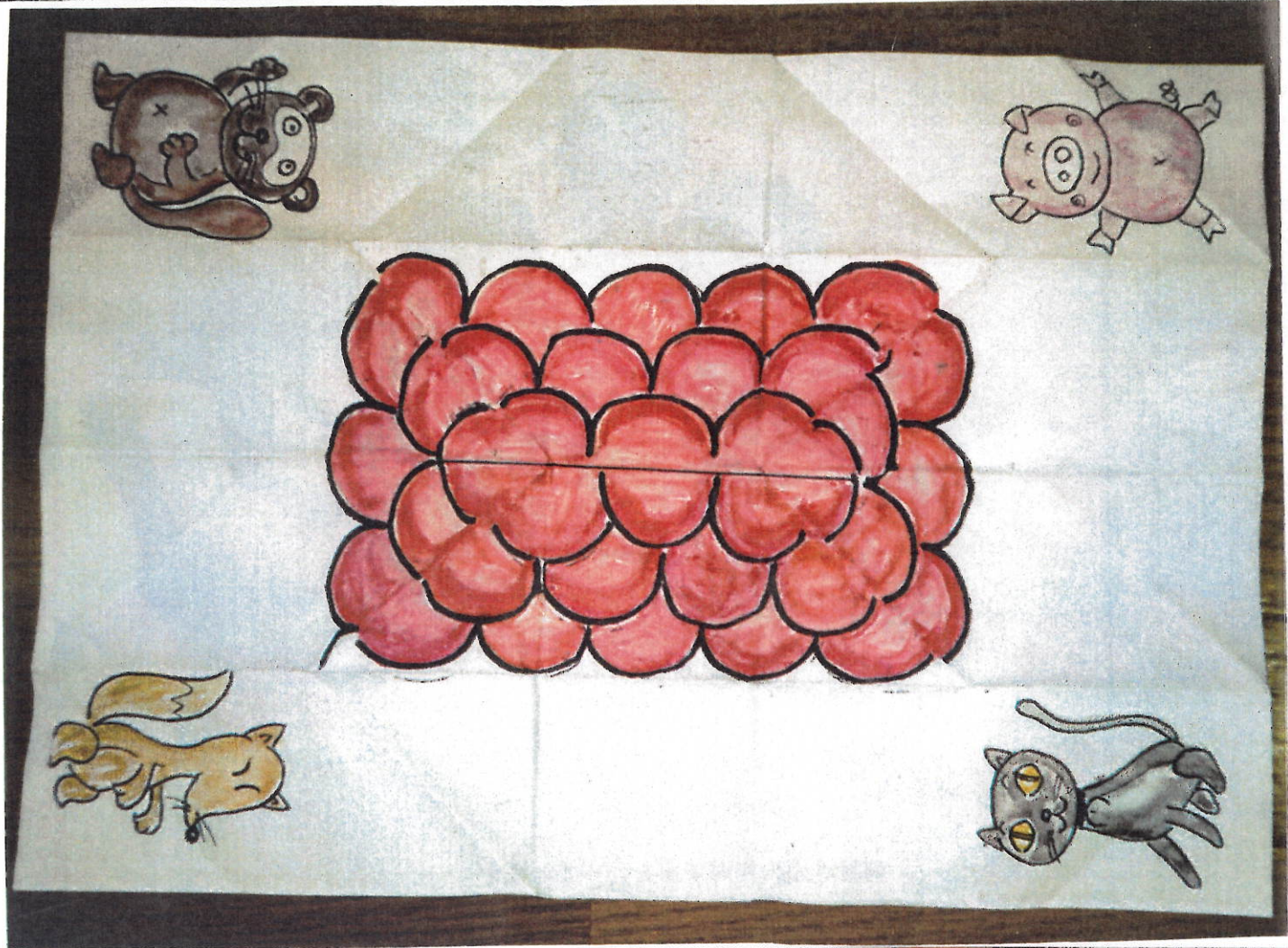
家の屋根に色を塗っています



河村さんの指導で家を作っています



出来上がった家の遊び方を説明しています

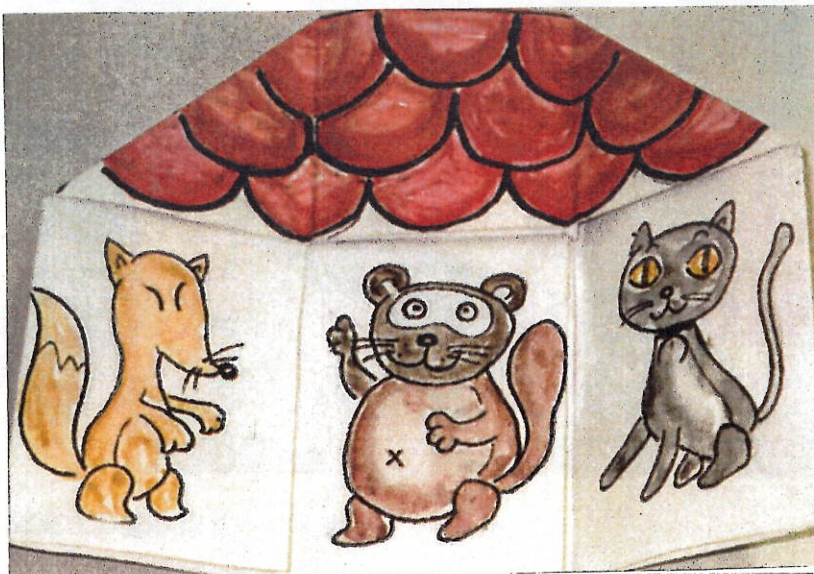
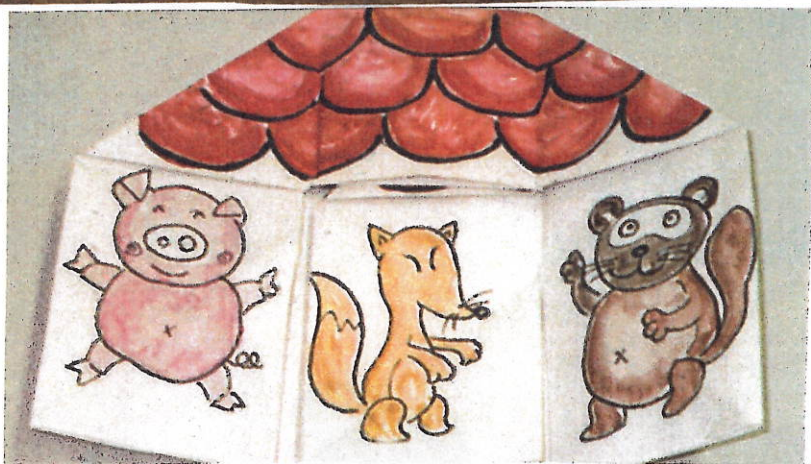


↑ 白色のA3用紙、中央は屋根
四隅に動物を画きます

{遊び方}

→

きつねが中央にいます。右のたぬきを中央に持って来たいときは右のたぬきをきつねの上に折り込みます。そして左のぶたをきつねの上に織り込みます。裏返して家の窓を開くとたぬきが中央に来ます。



○のびやかスペース「あーち」・・・河村さん担当

第1、第3火曜日13:00～15:30

神戸大学大学院人間発達環境学研究科、ヒューマンコミュニティ創成研究センター・サテライト施設にて実施しています。

9月6日(火)は30組のたくさんの親子が参加されました。

○第11回公開学習会予定

親子わくわく体操塾

子どもと もっと楽しくあそびたい 親子あつまれ！！

一緒にあそんで、一緒に感じて、一緒に笑う・・・

そんな時間をお届けします。

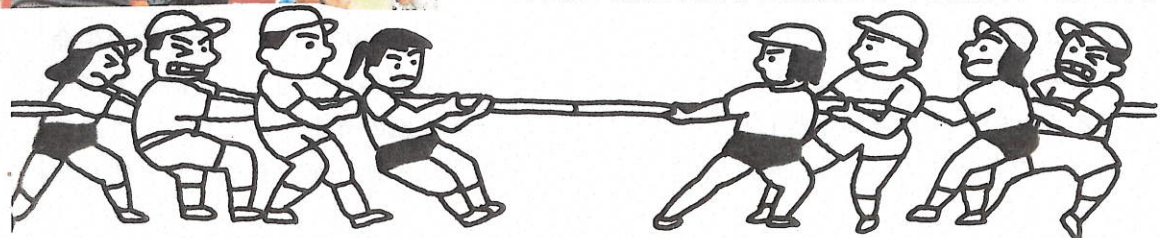
日時 平成23年10月15日(土) 13:30～15:30

場所 芦屋市医師会 医療センター (芦屋市公光町5-13)

講師 “えのちゃん”こと 榎本 英樹 氏 (生涯学習サポート兵庫)

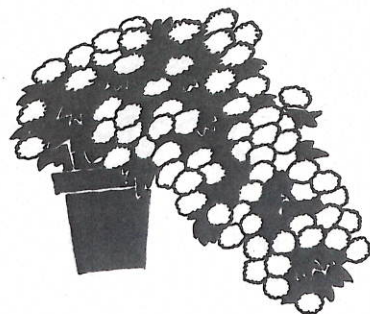


野外あそび屋、個人事務所 GREENWOOD を経て、2003 年「NPO 法人生涯学習サポート兵庫」を設立。指導局長に就任。各種キャンプや体験活動の講師、子育て学習・支援センター講師など、各種イベント行事の企画・指導を行なっています。あそびやレクリエーションのプログラムはもちろん、自らの爆笑エピソードなどをもとに行う講演はあきなくて楽しい講演会として好評です。PTA 対象の講演や指導者養成などでも活躍中の方です。



=知っておきたい知識=

仏教行事・お彼岸について



「暑さ寒さも彼岸まで」と言われるようにお彼岸を迎える頃には厳しかった暑さ、寒さも和らぎ、気持ちの良い季節を迎えます。

「彼岸」とは、「向こう側の岸」のこと。向こう側とは煩惱を脱した悟りの境地のこと。そして、こちら側の岸を「此岸(しがん)」と言います。

* お彼岸の期間 春 毎年3月の春分の日をはさんで前後3日間(合計7日間)

秋 毎年9月の秋分の日をはさんで前後3日間(合計7日間)

それぞれの初日を「彼岸の入り」、終日を「彼岸の明け」と言い、春分の日、秋分の日を「お中日」と言います。

「お中日」は、太陽が真東から昇り、真西に沈む日です。また、昼と夜の長さが同じ日でもあります。

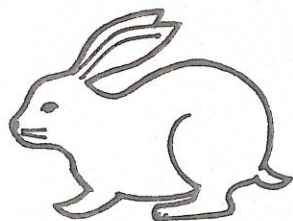
昔から彼岸には先祖の霊を敬いお墓参りをする風習があります。また地方によってぼた餅、おはぎ、団子、海苔巻き、いなり寿司などを仏壇に供え、家族でもこれを食すると言った風習があります。

「彼岸」は、サンスクリット語の「波羅密多(はらみつた)」から来たものと言われ、煩惱と迷いの世界である此岸(しがん)にある者が、「六波羅密(ろくはらみつ)の修業をすることで「悟りの世界」すなわち「彼岸(ひがん)」の境地へ到達することが出来るというものです。この期間に仏様の供養をすることで極楽浄土へ行くことが出来ると考えられていたのです。

彼岸へ到るために、「六波羅密(ろくはらみつ)」という教えがあります。

1. 「布施(ふせ)」・感謝の心で施しをする。
2. 「自戒(じかい)」・規律を守り反省する。
3. 「忍辱(にんにく)」・不平不満を言わず正しい心を持つ。
4. 「精進(しょうじん)」・目的に向かい精進努力する。
5. 「禪定(ぜんじょう)」・常に平静な心を持つ。
6. 「知恵(ちえ)」・真実を見つめ知恵を働かせる。

以上を実践し、彼岸に行くことを願って、行いを慎むことが本来の意味なのです。



編集後記

西洋医学は、身体の調子が悪くなってから薬を用いて治療する対処療法ですが、東洋医学は、患者の自覚症状や顔色、脈拍など体質によって薬を選び、体質から改善していくため予防医学と言われる。

3,000年前の中国・周の時代には、内科の医者として「食医」がいて漢方食の基本素材である草、根、木、皮、およびタネを植物の生命の源と考え、捨てることなく活用していたと言う。このことから中国では食品はすべて薬であるという考え方が定着した。私たちの生活では欧米風の食事が多くなり、このことが原因で病気にかかる人も増加している。あらためて日本食は漢方食であり、優れた健康食であると思う。

(羽賀)